

世田谷区議会議員

和田ひでとし通信 第十一号

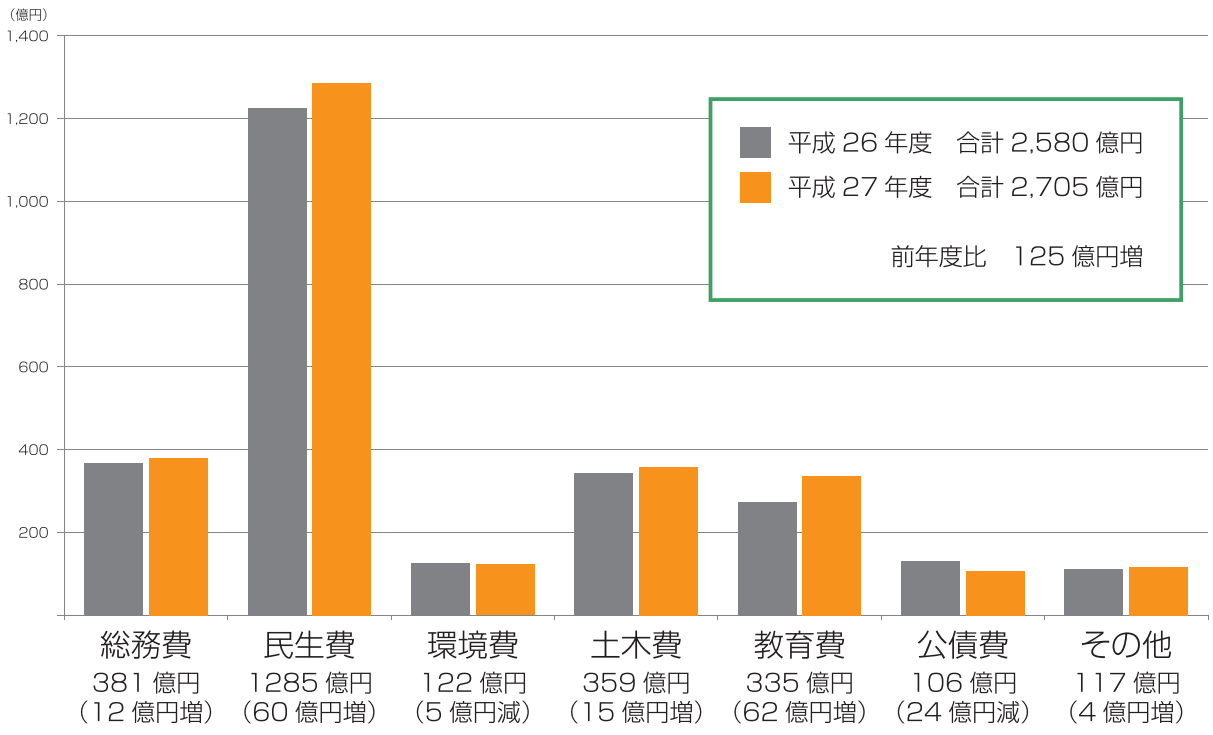
ごあいさつ

平成二十七年度、皆様のご支持をいただき、私にとりまして区議会議員としての二期目がスタートできました。

今期の自民党区議団は十六人です。そのような中、私が最初の年の区議団政調会長として、また常任委員会では企画総務委員会委員長としての役をいただきました。新たな気持ちでしっかりと前へ進んでまいりますので、今期もどうぞよろしくお願いいたします。

平成二十七年度予算について

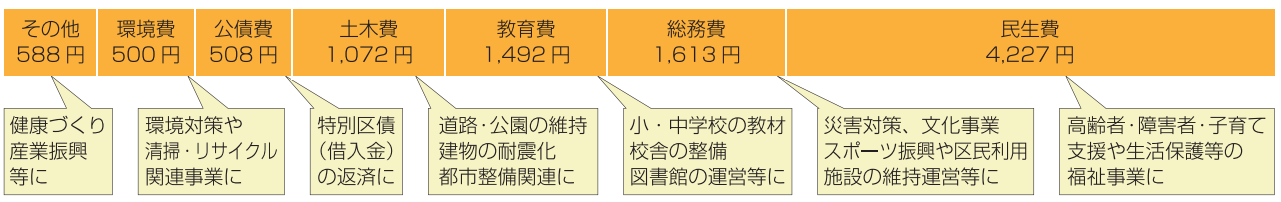
平成27年度 一般会計歳出予算（職員費を含む）



今年の第１回定例会（２月２４日～３月２７日）において、２７年度当初予算が可決・成立しました。会期中開かれた、予算特別委員会では初めて委員長を務めました。

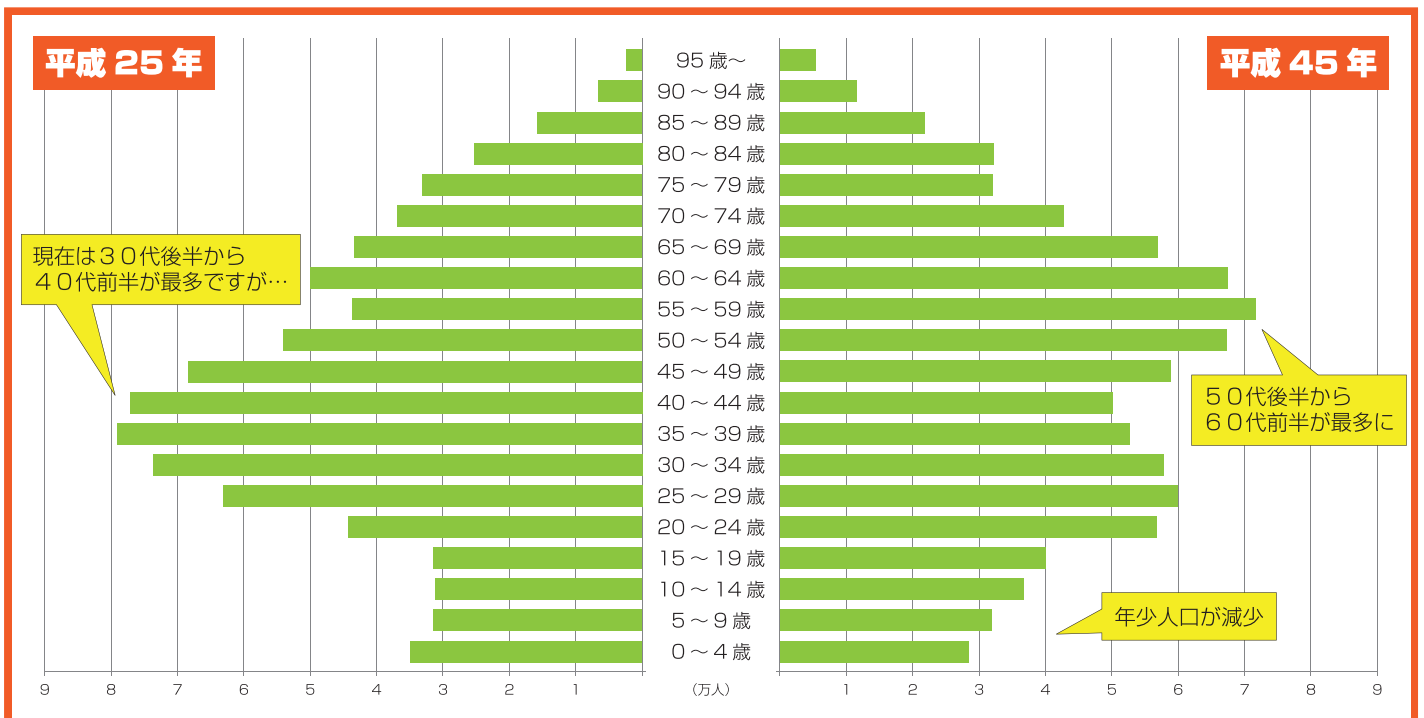
各領域にわたっての予算審議は、５領域の分野と区長が出席する総括・補充の計７日間行われ、初めての委員長は一瞬たりとも気の抜けない緊張の連続でしたが、大変勉強になりました。今回の予算は２年目となる基本計画で掲げる重点政策を、確実に展開すると発表されています。引き続き、しっかりと検証してまいります。

区の予算を１万円にたとえると・・・？



世田谷区の人口推計

世田谷区の総人口は、増加している一方で人口構成は高齢化が進んでいます。現在区民で最も人口が多い年齢層は３０代後半から４０代前半ですが、平成４５年には、５０代後半から６０代前半が最多となる予測です。同時に年少人口の減少も進み、人口ピラミッドは徐々に逆三角形に近づいていきます。



年齢５歳階級別人口の推計（平成２６年２月発表）

現在は子育て世帯の流入によって年少人口が増加し保育所の不足などが生じているため一見すると世田谷区は少子化と無縁のようにも思われます。しかし区の出生率の水準と我が国全体の少子高齢化の状況を考えると、年少人口の増加はいつまでも続かずいずれ減少に向かうことが確実です。世田谷区も少子高齢化と無縁ではなく、それが他の自治体より遅れてやってくるだけなのです。人口の少子高齢化が進むと、区の財政にも大きな影響を与えます。

今後は、将来の少子高齢化の影響をできるだけ軽減するよう、若者や子育て世代の流入と定住を促すことが区政の重要課題となるでしょう。



２期目の役職

自由民主党世田谷区議団　政調会長

幹事長と共に１６名の区議団をまとめていくとともに、しっかりと政策を進めていく役です。責任を感じています。もちろん１期生５人をリードする重要な役でもあります。

企画総務委員会　委員長

企画総務委員会は区政の総合的企画及び調整や、行財政運営について審査（調査）いたします。今期は委員長として初めの２年間務めます。

議会広報小委員会　委員長

区議会だよりの編集及び発行に関して、また区議会ホームページの運営に関する事項の調整、議会広報のあり方に関する調査研究をしていきます。今年１年を委員長として務めます。

今後の予定

- **第３８回 せたがやふるさと区民まつり**
  ８月１日（土）・２日（日）
- **第３７回 世田谷区たまがわ花火大会**
  ８月 22 日（土）
- **世田谷区議会 第３回定例会**
  （和田ひでとしが自民党区議団の代表質問をいたします）
  ９月 16 日（水）～ 10 月 21 日（水）

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！

和田ひでとし　検索

あなたのご意見をお聞かせください！

info@wadahidetoshi.com

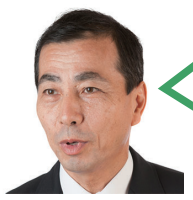
2015 年 6 月 発行　世田谷区議会議員 和田秀壽　〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 1-40-2　TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928

平成２７年 第１回区議会定例会（平成２７年２月２４日～３月２７日）一般質問より

「道路の計画的な維持管理」

区民の生活の基盤である道路は、誰もが安心して出かけていける道路でなければなりません。路面改良や歩道整備、自転車走行環境整備など、これらの事業が、思いつきや関心のある分野で、特に新たな事業を立ち上げる際の予算配分の面で、しわ寄せがあってはならないことは言うまでもありません。





QUESTION

持続可能な自治体経営を本当に目指すのであれば、地味ではありますが、地に足をつけた継続的に実施すべき事業が行政には山ほどあるはずです。
中でも道路は区民の生活の基盤となるものであり、高齢者や障害のある方も安心して出かけていける道路でなければなりません。また、自転車の走行環境の整備なども、もっと積極的に進めるべきと考えます。
財源に余裕がないからという理由で路面改良や歩道整備を後回しにせず、計画的に進めるべきであります。
区の見解を伺います。

ANSWER



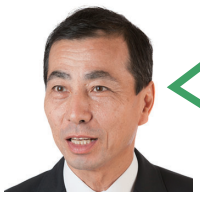
土木担当事業部長

道路は区民の誰もが利用する公共施設であり、適切な維持更新を進め、安全性、快適性を確保することが大切であると考えております。
改修の必要な路線が多い中、全区的な視点で優先順位等をつけ、事業を進めることが重要と考えております。
今後も引き続き安全で快適なまちづくりの実現を目指し、限られた予算を有効に使い、道路の健全性等を的確に把握しながら、計画的に路面改良工事、歩道整備工事に取り組んでまいります。

「駅ホームドアの整備推進」

東急電鉄は、東京オリンピックが開催される平成３２年までに東横線・田園都市線・大井町線の全駅へのホームドア設置を目指していることを公表しました。都は昨年４月に補助要綱を改正し、地元自治体を介してホームドア整備費用を補助することで整備促進を図ってきていますが、各鉄道会社のホームドア設置はなかなか進んでいないようです。





QUESTION

鉄道各社で急行運転が実施されており、特に玉川地域の重要な路線である大井町線は区内５駅のうち二子玉川駅以外は全て急行通過駅です。しかも各駅のホームは狭く、急行通過時は大変危険であり、区として積極的な取り組みを打ち出す必要があると考えます。
区の取り組み状況と今後の方針について伺います。

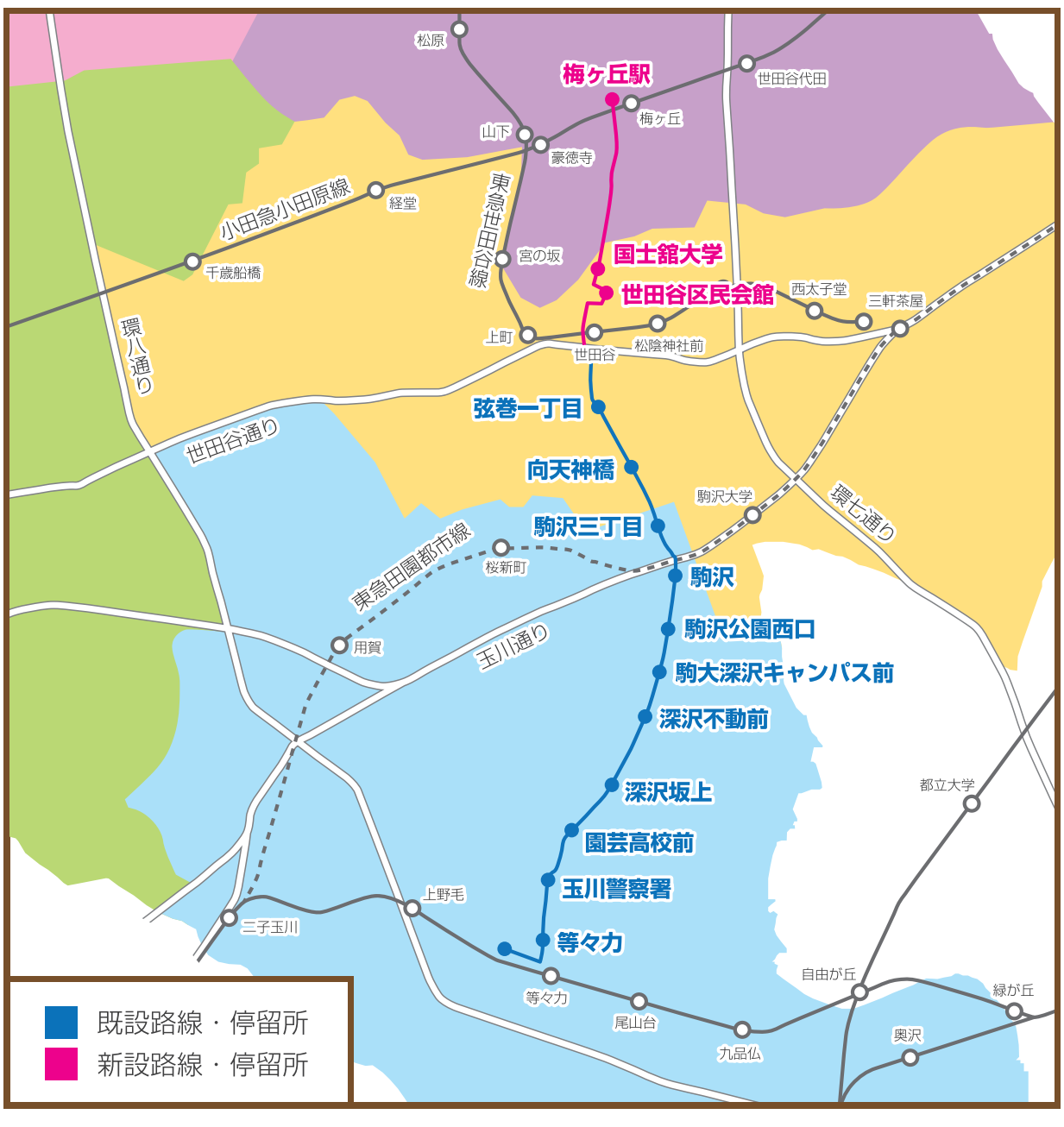
ANSWER



交通政策担当部長

区内には４１の駅がありますが、ホームドアが整備された駅は東急目黒線の奥沢駅のみであり、４０駅が未整備となっております。
都の補助は、１日当たりの利用者数１０万人以上の駅を優先的に整備するものであり、区内においては、下北沢、三軒茶屋、二子玉川の３駅でございます。
現在、１日当たりの利用者数１０万人未満の駅も含め、ホームドアを優先的に整備する駅の考え方について、庁内協議を進めているところでございます。区といたしましても、鉄道駅の安全安心に寄与するホームドアの整備が促進されるよう、東京都及び鉄軌道事業者とともに連携し、引き続き検討してまいります。

世田谷区内南北公共交通の強化



等々力―梅ヶ丘新規バス路線実現へ

これまで議会での一般質問で取り上げてまいりました、等々力―梅ヶ丘間をつなぐ新規バス路線の開通に向けて、実験運航が開始されます。大井町線と田園都市線、世田谷線、小田急線を南北につなぐ交通アクセスとして期待されます。途中、区役所・区民会館も経由します。

実験運航期間　平成２７年８月上旬より平成２８年１月下旬迄
所要時間　約２９分
運行便数　往復８便、計１６便（平日１０時台～１６時台）

この実験運航にて利用状況を確認・検証後、本格運航を協議しますので、皆さんもぜひ利用してみてください。

奥沢 駅とまちを考える会

これまで４回にわたって開催してまいりました「奥沢 駅とまちを考える会」。世田谷区と東急電鉄、そして駅周辺の商店会、町会の方々に声掛けをして進めてまいりました。奥沢駅を中心として、これからのまちのあり方、にぎわいや活性化、地元の駅としてのあり方等々、いろいろな課題を皆さんで共有し、考えていく会です。
今後、平成３２年に目黒線は相鉄線西谷への延伸が予定されており、相鉄線から新横浜を経由して目黒線への乗り入れが始まります。踏切や電車の車庫など、駅を中心としたこのまちのあり方を皆さんでさらに話し合っていきたいと思います。関心のある方はご一報ください。